

作成日		発行
2025. 09. 01 No.363		㈱秋山製作所 企画・デザイン室

ジャパンジュエリーフェア 2025 を終えて

先日はジャパンジュエリーフェア2025（JJF）にご来場いただきまして、誠にありがとうございました。約半年ぶりに弊社も展示会への出展となりましたが、僅か半年で状況は大きく変わっている事を実感しました。特に中国人バイヤーの真珠のルースやネックレスに対する価格の下落や品質に対しての基準が一段と厳しくなっています。材料販売を主体とする業者はかなり苦戦を強いられた事とされます。今回出展して得たヒントは、まだ製品や空枠には可能性があるという事です。本土中国人バイヤーが仕入れた材料を完成品に出来るかどうか。また完成度を追求し、真珠のルースの弱点を枠でうまくカバーしている製品は興味を示していただけです。その為、当社はメーカーという立場より、毎月新製品開発に力を入れているという状況です。

さて、9月は香港ジュエリーショーも控えておりますので、少しでもお役に立てるべく、新製品のご案内をさせていただきます。今回ご紹介する新製品は弊社女性スタッフ推奨の cochon よりご提案します。秋商戦に向けて新作のイヤークフを発表します。従来の物よりも軽量化を追求し、シンプルなデザインに加えて、長時間でも着けていられる「着け心地の良さ」にこだわりました。自信を持ってお勧めできる一品ですので、ぜひこの機会にお試しください！（Y. M）



“残暑バテ対策” 今年の夏も暑い日が続いていました。9月10月は徐々に朝晩の気温は下がりやすくなり、寒暖差が出てきていて体を慣れさせなくてはいけない時期になっています。 冷たいものを多くとることは少し控えること、気温が25度を下回るような朝晩の涼しい時間帯はエアコンを止め外の風を入れたり、外へ出て散歩したりして慣れさせていく必要があります。 また、湯船につかることで血行が促進され、自律神経が活発になります。体温より少し高い38度くらいのぬるめのお湯で10分から20分位を目安に入るといいとされています。 天気予報の予想気温を確認して、日中の熱い時間帯は熱中症に警戒し、朝晩の時間帯で涼しいときはエアコンを止めるなどの対応をとり、二重の対策を取り、残暑といわれる季節を元気に過ごしていきたいです（M. S） 	お月見泥棒 「お月見泥棒」という風習をご存じでしょうか。 「お月見泥棒」とは、子どもたちがお供え物をこっそりと盗み取ることを言い、中秋の名月の晩に限って許される行為とされています。 古くから十五夜のお供え物は、子どもたちが家のものでもこっそり盗んでよし、よその家の柿などを盗るのも自由などという風習が全国各地にみられました。 子どもは月からの使いとみなされ、盗まれた家でも“お供え物が全部なくなるほうが縁起がよい”“盗られた家は豊作になる”などとむしろ喜んでいたそうです。子どもたちにとっても“盗った団子を食べると健康でいられる”“供えられた豆腐を食べるとお腹が痛くならない”とする地域もあったそうです。 今では見られなくなった地域が多いようですが、福井県、茨城県、群馬県、愛知県、三重県、和歌山県、宮崎県などで風習が残っているそうです♪（M. S） 
--	--